

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
実 態	<p>①授業への取り組みはよく、集中して学習し聞き取った内容をノートに書き込みながら学習できている。話の要旨を聞きとったり、文章にまとめたりする力がやや不足していると感じる。提出物等の忘れ物がやや多い。</p> <p>②家庭学習ノート（チャレンジノート）には毎日取り組んでいる。しかし、学習内容が常に同じ生徒がおり、復習の仕方やテスト勉強の仕方をさらに丁寧に指導する必要性を感じる。</p> <p>③家庭学習の習慣が定着していない生徒がいる。</p>	<p>①授業規律がほぼ定着しており、集中して学習に取り組んでいる。昨年度に比べ、授業道具や提出物の忘れ物は減ってきている。</p> <p>②家庭学習が不足している生徒が多く、問題にじっくり取り組むことが苦手である。そのため、自分の考えを文章にまとめて、資料を読み解いて答えたりする活用力が不足している。</p>	<p>①授業規律が定着しており、授業に集中して取り組んでいる。</p> <p>②基本的な問題はできるが、グラフや表、写真などの資料を読み取って答える問題が苦手である。</p> <p>③すぐに結果に結びつく学習には意欲を見せるが、日ごろからこつこつと積み上げる粘り強さにやや欠けるところがある。</p>
方 策	<p>①生徒指導の三機能を意識した、話を互いに聞いたり、文章にまとめ表現したりする授業を推進する。</p> <p>②学力の基礎となる読む力と書く力をつけるため、朝自習・朝学習の時間に文章視写の取り組みを充実する。</p> <p>③家庭学習ノート「チャレンジノート」を用いて家庭での自主学習に取り組みせ毎日担任が点検し、必要に応じてコメントを書き込み、がんばりを認めたり励ましたりしながら、個別指導を行う。</p> <p>④朝学習の時間を使って5教科の小テストを実施し、問題に慣れさせ基礎・基本の定着を図る。</p>	<p>①生徒指導の三機能を意識した授業で話を聞いたり、文章にまとめたりする場面を取り入れた授業を推進する。</p> <p>②学力の基礎となる集中力と読む力と書く力をつけるため、朝自習に「読書」や「文章試写」「教科プリント」の取組を充実する。</p> <p>③「チャレンジノート」を用いて家庭での自主学習に取り組みせ、毎日担任が点検し、必要に応じて個別指導を行う。</p> <p>④夏季休業中に1学期の復習教材を購入し、家庭学習に取り組みさせる。登校日に点検し、夏休み明けの課題診断テストで定着度を確認する。</p> <p>⑤冬季休業中に2学期の復習教材を購入し、全体に取り組みの意義を理解させ休み明けの診断テストで定着度を確認する。</p>	<p>①生徒指導の3機能を意識した授業を取り入れ、ペア学習やグループ学習を活用し、学び合い学習を進め、相互の学力向上を図る。</p> <p>②授業や家庭学習の課題を用いて、記述問題や発展問題に取り組みさせることにより応用力をつける。</p> <p>③家庭学習では「新研究」を活用し、毎日1教科ずつ計画的に取り組みさせている。</p> <p>④夏季休業中には「新研究」の2年生までの範囲を繰り返して復習（2回目）に取り組みさせるとともに、3年生1学期に学習した範囲の復習にも取り組みせ、基礎・基本問題の定着と入試対策用の応用問題を練習させる。</p> <p>⑤卒業後に向けて、自分で学習する意識を高める声掛けを行う。</p>
学 力 補 充	<p>①各教科で、課題の提出や学習プリントの状況から、遅れが見られる生徒に、放課後の学力補充学習を課題に応じた個別指導の形で行っていく。</p> <p>②定期考査前に「質問教室」を行い、基礎的内容の理解が遅れている生徒の支援を行う。また、考査後はテストの解説を行い、何を根拠にその答えになるのかを理解させたい。</p> <p>③フォローアップシートを用い、授業の中で基礎的内容の復習を行う。</p>	<p>①夏季休業中に学習相談日を4日間設定し、質問ができるように先生たちに待機してもらうので、家で集中できない人や質問のある人に参加するように呼びかけ、個別指導し、苦手教科の克服等学力補充をめざす。</p> <p>②各教科で、課題や学習プリントの提出状況から、遅れが見られる生徒に、昼休み等に学力補充学習等を実施する。</p>	<p>①夏季休業中及び定期テスト前に学習相談日を設定し、学力補充を行う。</p> <p>②朝学習の時間に「新研究定着ノート」の取り組みをチェックし、不十分な生徒に対しては個別支援を行う。</p> <p>③各教科で、副教材や学習プリントの提出状況から、遅れが見られる生徒に、放課後等を利用して学力補充学習を実施する。</p>